

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	WJOG4107 もしくは WJOG6611LTR に登録され、余剰検体が近畿大学医学部ゲノム生物学教室に保管されている症例			
②研究課題名	非小細胞肺癌における次世代シーケンサーを用いた Multiplex 体細胞遺伝子変異解析と各種変異陽性例の予後解析研究			
③実施予定期間	承認日 ～ 2019 年 9 月			
④実施機関	多施設共同研究（西日本がん研究機構）			
⑤研究代表者	氏名	西尾 和人	所属	近畿大学医学部ゲノム生物学教室
⑥当院の研究代表者	氏名	高橋 利明	所属	静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科
⑦使用する検体・データ	以前に当院にて WJOG4107 および WLOG6611LTR に登録し、すでに集積済みの余剰検体			
⑧目的	<p>「非小細胞肺癌術後アジュバント治療における TS1 vs CDDP+TS1 の無作為化第Ⅱ相臨床試験」</p> <p>(WJOG4107) および「未治療ⅢB/Ⅳ期非小細胞肺癌に対するカルボプラチン/TS1 併用療法とカルボプラチン/パクリタキセル併用療法の無作為化比較第Ⅲ相臨床試験～LETS study～におけるバイオマーカー研究」(WJOG6611LTR)における余剰検体を用い、次世代シーケンサーによる体細胞遺伝子異常を検索し、今後の非小細胞肺癌臨床に必須と考えられる Multiplex 体細胞変異診断における次世代シーケンサーの有用性を検討する。各種変異陽性例においては臨床背景因子との相関及び予後との相関を検討する。</p>			
⑨方法	以前に当院にて WJOG4107 および WLOG6611LTR に登録し、すでに集積済みの余剰検体を用いて体細胞遺伝子並びに融合遺伝子の解析を行う。測定には次世代シーケンサーである IonPGM(ライフテクノロジーズ社)を用いる。本研究では、新たな検体採取は行われなため侵襲性は有さず、患者に対して最小限の危険を超える危険を含まないと考えられる。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2015 年 8 月 17 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長